

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	博物館管理事業				シート番号	008-062	
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名)	増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年に堺市博物館が開設されて以来、施設の維持管理を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	博物館(堺市茶室含む)の施設を運営・維持管理していく事業で、館を安全で快適な施設とし、開催する諸事業の基礎となる。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	博物館施設の維持管理運営を行う事業で、警備、清掃、機械運転、受付などの委託業務の実施管理や、施設設備の保守・修繕などを行っている。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	114,591	116,595	166,132	157,113	119,433	113,103	133,412
	主な事業費内訳								
	光熱水費	千円	26,381	25,701	26,381	30,299	26,381	27,717	28,414
	委託料	千円	53,894	54,360	67,517	57,509	64,673	60,034	70,104
	整備工事費	千円	18,739	19,249	53,460	51,069	9,100	7,844	11,600
	国・府支出金	千円							
	財源内訳								
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	5,440	2,247	7,291	2,077	6,929	3,708	7,181	
市債	千円	13,200	13,200	38,100	30,900	0	0	0	
その他(基金繰入金・物品売払収入)	千円	4,100	3,572	8,499	7,930	14,483	10,346	18,941	
一般財源	千円	91,851	97,576	112,242	116,206	98,021	99,049	107,290	
12	人件費 (b)	千円	35,640	35,640	19,740	19,740	25,190	31,670	36,440
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	150,231	152,235	185,872	176,853	144,623	144,773	169,852

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	博物館管理事業	シート番号	008-062
-------	---------	-------	---------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	○施設維持管理業務						
		○施設改修工事 等						
	15	指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		入館者数	人	目標値	170,000	170,000	200,000	100,000
				実績値	161,866	158,147	266,721	
				達成率	95%	93%	133%	
				評価	普通	普通	大変良い	
	算出方法・設定根拠など		博物館への入館者数(無料入館・茶室利用者数含む)。令和2年度はコロナ禍により目標値を下げる。					
	16	指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
実績値								
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	入館者数	人	161,866	158,147	266,721
	②	上記①にかかる年間経費	千円	152,235	176,853	144,773
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	941	1,118	543
	備考(算出についての説明等)		管理事業経費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録の影響により、大幅に入館者数が増加した。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	博物館管理事業	シート番号	008-062
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞
 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 博物館を管理運営する根幹的な事業で廃止することはできない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 博物館を管理運営する根幹的な事業で廃止することはできない。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 博物館を管理運営する根幹的な事業で廃止することはできない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 博物館の管理運営上、必要不可欠な業務を実施している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	博物館主催の講演会やイベントなどのネット申込の拡充など、ICTを活用した事務の効率化等を進める。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 老朽化した施設・設備の計画的な更新を図り、入館者にとって安全性・快適性を維持するとともに、スペースの有効活用や事務のICT化などにより、より効果的・効率的な施設の管理運営に努める。			